



お元気ですか
志村 たかよし です

第509号 2010年9月12日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

区民など1000人を超える参加 京橋地域で「中央区総合防災訓練」を実施



新川ツインビル地区前広場の救助訓練

9月5日、中央区総合防災訓練が新川ツインビル地区前広場を主会場にして行われ、千人を超える方たちが参加しました。
住民による訓練は、新川地域が明正小学校、鉄砲洲地域が女性センター「ブーケ」で行われました。
主会場では、被災した自動車、倒壊家屋や高層ビルからの救助など、臨場感あふれる訓練に大きな拍手がわきあがりました。



「マイホーム新川」からの救出訓練



隅田川に向かっての「いっせい放水」

連日続く猛暑日のなか、湿度も高く、熱中症になる方が出ないかと心配しましたが、水分補給もあちこち



阪神淡路大地震の映像に「くぎ付け」



猛暑の中の炊き出しは、カレーがピッタリ

に配備されており、熱中症になった方はいなかったということです。みなさん、お疲れ様でした。

「ハツ場ダム」予定地を視察しました

8月24日、群馬県の「ハツ場ダム」予定地を視察しました。

「ハツ場ダム」は、民主党政権が工事の中止を地元関係者などとの協議もなく、トップダウンに近いやり方で進めようとして話題になりました。

たしかに「ハツ場ダム」は、必要性の低いダムであり、当初は地元住



あの「十字架」で有名だった橋脚をバックに

民も強く反対していたのですが、その後、住民は、やむなくダム計画を受け入れ、協力してきた経緯があります。そして、ダムを前提とした生活設計をたてていたのです。

美しい渓谷と輝く緑や村がダムの底に沈むのを想像すると、税金のムダ遣いであるハツ場ダム建設は中止



すべきとあらためて思いました。

その手順は、住民や関係者との協議を重ねて進めるべきだと思います。

浮かんだことわざは「急がば廻れ」。どんな施策でも、住民に依拠し、住民とともに練り上げる姿勢が必要ではないでしょうか。

やはり「住民こそ主人公」です。

高齢者団体が、区に申し入れ



9月1日、高齢者団体が、中央区に「2010年度 高齢期の年金・保健・医療・福祉・住宅・介護・就労の充実をめざす要請」を行い、私(志村)も同席しました

参加者からは、高齢者の就労対策の強化や認知症グループホームの家庭負担の軽減など切実な要望が出されましたが、区の答えは、参加者の希望にこたえるものではありませんでした。



上に新しい道路。電車(写真中)線路は水没

ブログを毎日更新しています。「志村たかよしワールド」と検索してごらんください。